

シヨパン最後の室内楽曲チェロ・ソナタを中心に、
ロマンティックなヴァイオリンとピアノの調べを秋夜に聴く

田原綾子

ヴァイオリニスト

Piano Viola

實川 風 (JITSUKAWA Kaoru) Piano

バッハ・ベートーヴェンを核としたプログラミングで各地での演奏活動を行っている。また、現代曲や邦人作曲家の新作初演にも積極的に取り組む。

2015年、ロン・ティボー国際コンクール(フランス)にて第3位・新曲演奏賞・リサイタル賞を受賞。2016年、カラーリョ国際ピアノコンクール(イタリア)にて第1位・聴衆賞を受賞。東京藝術大学を首席で卒業し、同大学大学院(修士課程)修了、グラーツ国立芸術大学ポストグラデュエイト課程修了。

最新CD「Kaoru Jitsukawa plays BACH」をリリース。

＜プログラム＞

フォーレ：夢のあとに
月の光

ドビュッシー：美しき夜

ヴェータン：ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 Op.36

キュイ：『万華鏡』Op.50より

第21曲「愛の手紙」

第14曲「アパッショナート」

シヨパン：チェロ・ソナタ 短調 Op.65

*やむを得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。

2023年

10月29日(日)

開場:14:30/開演:15:00

入場料:【限定50名様】会員4,500円(座席指定可) /
一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

田原綾子 (TAHARA Ayako) Viola

第11回東京音楽コンクール、第9回ルーマニア国際音楽コンクール優勝。

国内外でソロリサイタルが定期的に行われており、ソリストとして読売日響、都響、東響、東京フィル等と共演。室内楽奏者としても国内外の著名なアーティストと多数共演している。現代音楽にも意欲的に取り組んでおり、新作委嘱も数多い。第23回ホテルオークラ音楽賞受賞。

これまでに藤原浜雄、故岡田伸夫、ブルーノ・バスキエ、フアイト・ヘルテンシュタインの各氏に師事。サントリー芸術財団より Paolo Antonio Testore を貸与されている。

©Taira Tairadate



Shibuya
Mitake
Salon

123
Shibuya Mitake Salon (vol.157)



●ご予約・お問い合わせ株式会社 ILA (渋谷美竹サロン) 03-6452-6711(平日 10:00-18:00)、070-2168-8484(時間外可) Webサイト: <https://onl.bz/SxBXvSs>

(美竹湯花さろん)

田原綾子 ヴィオラ リサイタル

2023年10月29日(日)

開場 14:30/開演 15:00 入場料:会員4,500円(座席指定可)/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

ショパン最後の室内楽曲チェロ・ソナタを中心に、 ロマンティックなヴィオラとピアノの調べを秋夜に聴く

チェロ・ソナタ短調 Op.65——

ショパンのロマンティズムの本質に迫るような晩年の傑作としてクラシックファンを魅了してきた。

彼の晩年の作品には多かれ少なかれ不安と焦燥が感じられるが、この曲は内に秘めた悲しみを吐露するような特有のカンタービレが緻密に構築されており、思わずため息が出てしまうほどに美しい。生前に出版された最後の作品となっていることも興味深い。

ショパンの死の2、3年前(36～37歳)、ジョルジュ・サンドと別れ、健康面でも悪化の一途を辿っているなかで書かれたことから、苦悩に満ちた遺書のようにも感じられる。

しかし、このチェロソナタを足がかりに室内楽の世界へと足を進めていくつもりだったのだろうと思われる節も見られる。

それまでにはなかった“ピアノの詩人”という独自の認識を得つつあったショパンが、チェロやヴァイオリンとの室内楽曲に幅を広げていたとしたら、いったいどんな作品を残していたのだろう。

ショパンがもう少し長く生き永らえていたら…と、ついソラレルワールドの妄想をふくらませてしてしまう…実際、死の直前までヴァイオリンソナタなどのスケッチを残していたそうだ。

しかし、道半ばだったからこそ、ショパンが最後に遺した室内楽の傑作であるこのチェロソナタが輝き続けているのだろうか。

今回の演奏会では、チェロのパートをヴィオラで奏する点でも注目が集まる。

田原綾子氏のヴィオラは瑞々しさとエネルギーに満ちており、聴いていてなんとも心地よく、すべてをつつみこむような響きに、「いい音楽を聴いた…」という満足感が残る。

ステージ上での彼女の音楽に対する真摯さ、清々しさにも心を動かされる。



今演奏会では持ち前の推進力のみならず、歌心溢れる音楽性、繊細でニュアンスを秘めた美しい弱音、細部まで行き渡った歌心など、彼女のさらなる深化が感じられるのではないだろうか。

本チェロソナタではさすがにショパンらしく、ピアノパートが、ショパンの他のピアノソナタ作品のように難しいとされている。

巧さもバランス感覚も必要とされる作品だが、昨今、室内楽で独自の巧さ、魅力を発揮しつつある實川風とのデュオによって、絶妙に息のあった対話が繰り広げられることが期待される。

フォーレの「夢のあとに」やドビュッシーの「美しき夜」。ロマン派のヴァイオリニストであり作曲家ヴェーグターの傑作、「ヴィオラ・ソナタ」変ロ長調 Op.36、ロシアの作曲家キューイの「ヴァイオリンとピアノのための24の小品集『万華鏡』Op.50」より抜粋など、他プログラム構成も興味深く、聴き応えのあるものとなるだろう。

益々フィット感を増す「田原綾子&實川風 デュオ」が贈る秋の夕べに寄り添うような作品たちによるロマンティズムを味わいたい。(渋谷美竹サロン)



日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。
渋谷美竹サロン(美竹清花さろん)が追求する
“本物の音楽”は、演奏者と参加者とわたしたちの、
三位一体の努力と対話から生まれます。



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分

大好評につき
サロンメンバーズ
追加募集中!



●お問い合わせ

株式会社 ILA 渋谷美竹サロン (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日 10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188



公式Webサイト

